

～今月の花木～



ハナズオウ 花蘇芳

マメ科・落葉低木・中国原産

花は葉が出る前に、枝先にびっしりつくように咲く。マメ科なので、果実は豆の形をしている。葉はハート形をしている。



バラは管理（世話）をしないと、まともに咲いてくれない…

植栽管理の話

新年度になり、新しい環境になる人もいれば、相変わらずの環境の人もおりますが、環境や立場に限らず、新たに目標をたて、何かに挑戦してみようという気持ちになれる時節柄ではないでしょうか。植物が休眠から目覚め、伸びはじめる時期でもあり、植栽の管理作業がこの先増えていきます。今後一年間の植栽管理についても、目標や計画を立ててみては、いかがでしょうか。

✿植栽管理とは…

生き物である植物相手のため、生育時期や特性を理解した管理が必要です。管理作業は植物の種類により、頻度や時期が異なります。切ったり刈ったりする作業が中心ですが、病虫害の防除、施肥、樹木調査・診断、樹勢回復など植栽が健康に生育するための作業も重要です。

一般的に年間の植栽管理作業スケジュールは、裏面をご覧ください。

植栽管理における、PDCAサイクル

<目的達成のため、計画を立てる>

- ・実施対象場所や範囲を決める…植栽の場所や種類により決める
- ・実施時期、方法、回数を決める…伸びの早い芝生や雑草の草刈・除草は回数を多めに実施する、翌年咲く花芽の分化前に刈込したいツツジ類は7月中旬までに刈込みを済ませる、高木は1～2年に一回剪定するなど、費用や実施のタイミング（行事の前など）を考慮して決める
- ・倒木や病虫害などの被害が出そうな箇所の把握と対応を決める
- ・自ら作業の出来ない場合、業者などに依頼するための費用を確保して、前もって依頼する（繁忙期はすぐに作業が出来ない場合が多い）

P

<実行する>

- ・計画に沿って作業を実施する
- ・実施にともない周知の必要性があれば、事前に周知を行う
- ・緊急性のある作業は、計画の前倒しや別途実施する

D

<評価・検証する>

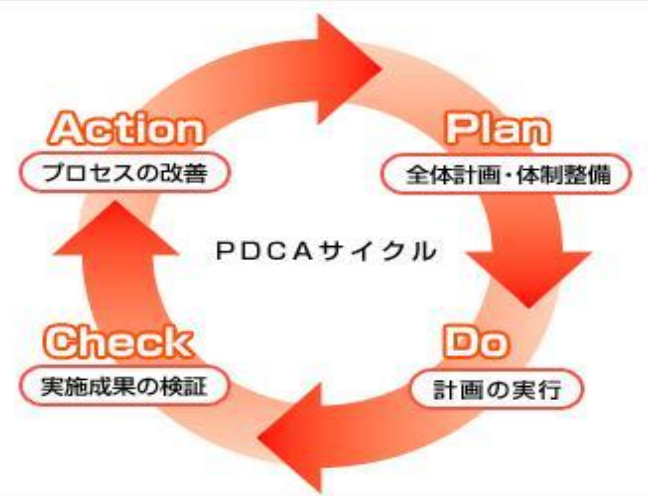
- ・仕上がりは良いか？ 作業の段取りに問題はなかったか？
- ・実施後の伸び具合は、どうか？ ・一年を通して植栽環境は良かったか？
- ・その時期、その方法で実施したことにより、（翌年の）花や実は良かったか？ また、枯れたり弱ったりは、しなかったか？

C

<計画の改善をする>

- ・作業を実施した場所、時期、方法、回数の検討と改善
- ・見えてきた課題と今より効果的な作業方法の検討と実施
- ・要望やクレームへの、前もった対応方法の実施

A



PDCAサイクルとは…

御存じの方も多いと思いますが、仕事など業務を行う上での重要な行動指針として、「PDCAサイクル」というものがあります。

P:Plan（計画を立てる）

D:Do（計画を実行する）

C:Check（評価・検証する）

A:Action（計画の改善）

P→D→C→Aときて、Aからまた次のPへ進むサイクルを継続的に実行することで、業務を改善していく考え方は、

ある目的達成のために計画し、実行することで出た結果を成功・失敗を含め検証して、より良く目的達成のために計画し直し、また実行する繰り返しをすることで、同じ失敗の繰り返しを防ぎ、1サイクルごとにステップアップする、仕事以外の生活や趣味の向上にもいかす事の出来る考え方は、

✿作業を依頼する側、実施する側の双方で知恵を出し合いながら、進めていきたいものです✿

植栽管理年間作業表

作業時期は一般的な目安になり、植栽の種類により変わる場合がありますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

最適期 ←→ 多少よい時期 ←⋯⋯→

作業内容\時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
樹木管理													
常緑樹剪定											真冬の常緑樹剪定は、樹木へのダメージ(大)		
落葉樹剪定	花木は花芽形成前に剪定		夏期剪定(軽剪定)			落葉前に実施は、落葉清掃が楽/冬期剪定(基本剪定)							
針葉樹剪定	針葉樹は時期によらず強剪定に弱いものが多い												
低木(生垣)刈込	花木は花芽形成前に剪定					花芽形成後の花木は、とびを取る程度に刈り込む							
植込み地除草	最適期												
施肥	春の芽だし肥や花後のお礼肥(速効性肥料)						寒肥(遅効性肥料)は、特に有効						
病害虫防除	チャドクガ(ツバキ類)注意			サクラ、ツバキ類注意			冬期にはマシン油乳剤、石灰硫黄合剤が散布できる						
マツ手入れ	みどり摘み			もみ上げ(古葉落とし)、透かし剪定									
マツ枯れ防止	枯マツ伐採は4月までに伐採が特に有効					マツ枯れ予防剤注入は冬期の施工が必須							
芝生管理													
※冬に休眠(冬枯れ)する、野芝や高麗芝などの日本芝の場合													
芝刈り	月1回		月2回			月1回(10~11月で刈り止め)							
除草剤散布							冬雑草発芽前			夏雑草発芽前			
施肥	最適期												
手取り除草							冬雑草は目立つので取りやすい						
芝張り(補植含む)	最適期												
裸地・そのた管理													
草刈り・除草	最低年3回は行いたい												
落葉はき	最適期												

樹木管理における、リスクの把握と軽減

昨年度(平成26年度)は、東京近郊では大きな被害をもたらした台風や雪害はありませんでしたが「天災は忘れた頃にやってくる」ので、今年も無いとは限りません。

事前に倒木や幹・枝折れなどの被害の恐れのある樹木を点検し、普段から危険性の除去をすることは、災害時の被害軽減にも繋がります。

①まずは点検から…目に見える障害を確認します。例えば枯枝がある、活力がない、キノコが出ているなど、明らかに枯れていない樹木でも異常があれば記録します。生理的な異常が見られない場合でも、枝葉が茂りすぎているものは、台風や雪害による被害のリスクが高まります。

②点検結果から…枯枝等切除すれば済むものは、枯枝剪定など処置をします。繁茂しすぎた樹木は剪定し、風通しなどを良くすることで台風や雪害のリスクの軽減が図れます。わかりにくい障害は樹木医など専門家による外観診断や精密診断を実施し、診断結果に基づき、場合によっては、植替え等の検討をします。(弊社にて樹木診断業務も実施しております)



外観診断の一例



精密診断の一例